

# 外国につながる子どもの教育権保障と多文化マイノリティ学校の可能性

## —カナダにおける取組みを手がかりに—

大岡栄美（横浜市立大学）

### <要旨>

多言語・多文化化する子どもたちの教育機会の保障と私学助成による公教育制度の拡大の可能性をめぐる制度的葛藤の問題にアプローチする。本発表では、州が教育を管轄するカナダの事例から、言語的、文化的、宗教的多様性を尊重する独立学校に公的助成を行うブリテッシュ・コロンビア州の事例と、あくまで、私学助成を拒否し、代わって公立学校の枠組みのなかで、民族学校的な黒人中心学校を開始しようとしているオンタリオ州の事例を紹介する。

中央集権的、画一的な教育が限界を迎える中、多様性をもつ子どものニーズに寄り添った多文化マイノリティ学校への支援は、グローバル化時代の多様な人材育成という観点から、すべての子どもの教育の選択肢を拡充し、教育環境の多様性を広げる可能性をもつのか。複雑性、複数性を尊重する教育は、公教育（初等・中等教育）の中でいかにして可能なのかを検討してみたい。

## 1. カナダにおける移民児童と彼らを支える教育制度

### (1) 多人種化・多宗教化する就学年齢人口

- ・カナダ人口の約20%が外国生まれ（過去75年で最高の水準）
- ・移民の約7割が非ヨーロッパ諸国出身移民
- ・就学年齢人口は一層多言語・多人種・多宗教化

⇒多様性の深まりは、当然クラス運営のあり方、学校制度、学習や生活支援サービスなど様々な分野に影響。特に、多様な文化的・言語的・宗教的背景をもつ児童の必要性に応じ、いかにして学習環境を調整していくのかが、長年カナダの教育における大きな課題。

### (2) カナダの公教育制度—「多様化」と「標準化」のバランスの模索—

- ・10州3準州からなる連邦国家
  - ・州の管轄による分権化（英領北アメリカ法93条、地域的多様性の尊重）
  - ・すべての永住者と市民権保持者の子どもに無償義務教育保障
  - ・公立学校中心
- ・公立学校内部での改革
- \*多様性の尊重
    - ・1971年 連邦政府による多文化主義政策の導入
    - ・各州による多文化教育の学校への導入
      - 1) 1977年 継承語教育（現在 国際言語プログラム）の実施
      - 2) カリキュラムへの多様性の反映、宗教教育の廃止
      - 3) 教員や教育委員会における人種的多様性の反映

- \*標準化の強まり
  - ・カリキュラムの統一
  - ・全国標準テストの実施と卒業要件化
  - ・成果主義、説明責任、競争力強化の流れ

⇒標準化と多様性の尊重のおとしどころをどこに見出すのか。ますます多言語化・多文化化が進むなかで、綱引きが続いている。

### (3) マイノリティ学生の教育的周辺化と人種・エスニック階層構造再編

- ・PISA (2003) (2006) 国際的に高い教育水準、移民学生の高い就学率
- ・マイノリティ学生の周辺化
  - ・高い高校中退率
  - ・グローバル市場におけるマイノリティ文化における序列化

教育の目標 国民の創出⇒グローバルな市場で活躍できる競争力ある労働力の創出

- ・エスニック文化の継承とアイデンティティの尊重とホスト社会への参加、グローバル労働市場へ参加の関係性の変質

⇒ 私学助成も含む、公教育を通じた教育機会の拡大が再検討

## 2. マイノリティ学生の教育をめぐる制度的摩擦と挑戦

### (1) ブリテッシュ・コロンビア州の制度的アプローチ—公教育の脱構築

2 言語の枠組みの多文化主義からの脱却

- ・独立学校 (Independent School) に対する公費支出 (1978 年開始)
- ・少数公用言語 (フランス語、カソリック) とその他の言語、宗派学校との差なし
- ・フランス語の必修科目からの除外
- ・1989 年「独立学校法」⇒ 5 段階の選択
  - ・学校では人種的、民族的優越性、宗教的不寛容、暴力を教えない
  - ・助成にはBC州のカリキュラムを提供しなければならない

\*州統一カリキュラムに従う (ホスト社会志向) +エスニック文化、言語、宗教的価値観の尊重  
両立可能 ⇒ 社会統合は同一の文化・言語・宗教によらないという、ナショナル・アイデンティティの脱構築の徹底

- 例 BC Muslim School (アラビア語、イスラム視点からのカリキュラムへのアプローチ)  
The Vancouver Hebrew School (ヘブライ語、ユダヤ法、文化、歴史)  
Dasmesh Panjabi School (パンジャブ語、シーク研究)

⇒ 私立学校を公教育の中に組入れ、住民の多様性に対応した教育を提供する試み

## (2) オンタリオ州の制度的アプローチとその課題 — 公教育再編への要求

公教育での多文化マイノリティ学校への支援格差

- ・少数公用言語（フランス語）とカソリック系分離学校とその他の言語、宗派学校との格差
- ・オンタリオ中等学校修了資格取得のため、州のガイドラインに沿ったカリキュラム要
- ・私立学校（private School）に対する財政支援なし

\* 私学助成をもとめる論争

- ・1990年代私学助成を要求する集団訴訟 ⇒ 最高裁敗訴
- ・1999年、国際人権裁判所への申し立て⇒カトリック学校優遇に対し、警告
- ・日本の状況と類似（他州であれば、私学助成が認められているため、教育機会の平等に問題）

\* 公立学校の中で、オルタナティブ実験校として運営

- ・カリブ系、アフリカ系黒人の中退率の高さ、学業不振、校則の人種的プロファイリングな適用
- ・黒人中心学校（Black-focused School）構想 ⇒ 州のオルタナティブ・スクール（実験校）  
2009年9月開校予定

⇒ 制度的分離を回避し、既存の枠組みのなかで、住民の多様性に対応した教育を提供する試み

## 3. 日本における多言語・多文化マイノリティの子どもの教育選択への示唆

公教育からの排除

- ・日本における多言語・多文化的背景をもつ子どもたち ⇒ 「外国人」（境界の外への位置づけ）
- ・彼らの教育に特化した教育機関 ⇒ 「外国人学校」学校教育法第1条で定める学校ではなく、  
第83条各種学校としての位置づけ

⇒ 実態との乖離

- ・日本国籍取得者の増加（日本人の脱構築）
- ・「就学免除」の形で通う日本人の増加（例 横浜中華学院）
- ・一条校でのマイノリティ教育（京都国際中学・高等学校、白頭建国学院）
- ・新しいタイプの国際学校（都立国際学校、千里国際学園）

\* 国民国家型「国民性」の獲得と保持を求める装置としての公教育の揺らぎ

\* 外国人学校も「エスニック・マイノリティの文化、宗教、言語の継承・保持」に加え、「エスニック文化を文化資本とした、グローバル社会に通用する子どもの育成」という役割を担い、揺らぎ

\* 「外国人学校」への公費援助は、国家による教育の選択肢を拡大する新しい可能性？

\* 日本人とは誰か？その日本人を教育するとはどういうことか？という問いの再検討

- ・トランスナショナル/トランスカルチュラルな比較研究の可能性
- ・多言語・多文化社会での公教育の再構築（多様性尊重と社会統合）
- ・多文化マイノリティ学校戦略への理解（独立性維持と財政の安定のバランス）

## <参考文献>

- OECD 編著 (木下江美・布川あゆみ訳) 『移民の子どもと学力 : 社会的背景が学習にどんな影響を与えるのか : OECD-PISA 2003 年調査移民生徒の国際比較報告書』明石書店、2007 年。
- 大岡栄美 「人種的マイノリティの教育アクセス保障と学校選択に関する一考察—オンタリオ州における黒人中心学校論争を中心に—」『カナダ教育研究』第 5 号、19-29 頁、2007 年。
- 岸田由美 「カナダにおけるシティズンシップ教育の理想と現実」『カナダ教育研究』第 6 号、28-40 頁、2008 年
- 月刊イオ編集部編 『日本のなかの外国人学校』明石書店、2006 年。
- 児玉奈々 「教育におけるマイノリティの集団的権利の要求動向と保障のあり方—アルバータ州の教育制度を中心として—」『カナダ教育研究』第 6 号、41-53 頁、2008 年。
- 児玉奈々 「カナダの外国人学校と国際学校—オンタリオ州を中心に」福田・末藤 (2005)、77-99 頁。
- 小林順子他編 『21 世紀にはばたくカナダの教育』東信堂、2003 年。
- 関口礼子・浪田克之介編著 『多様社会カナダの「国語」教育—高度国際化社会の経験から日本への示唆』東信堂、2006 年。
- 自治体国際化協会 『カナダにおける義務教育制度の概要』自治体国際化協会、2007 年。
- 中島智子 「公教育における外国人学校の位置づけに関する試論—私立学校であり民族学校であるということ」プール学院大学研究紀要第 44 号、117-131 頁、2004 年。
- 平田淳・溝上智恵子 「カナダにおける教育行政制度の概要と教育改革の諸側面—日本における教育改革政策の視点から—」『弘前大学教育学紀要』第 100 号、99-109 頁、2008 年。
- 福田誠治・末藤美津子編 『世界の外国人学校』東信堂、2005 年
- Statistics Canada, *Canada's Ethnocultural Mosaic, Census 2006*, 97-562-XIE2006001.
- BC Muslim School <<http://www.bcmuslimschool.ca/>> 2009 年 1 月 15 日採取。
- Minister of Education, Overview of Independent Schools in British Columbia, <<http://www.11bc.leg.bc.ca/public/PubDocs/bcdocs/422156/geninfo.pdf>> 2009 年 1 月 15 日採取。